

認定NPO法人 北海道自由が丘学園・ともに人間教育をすすめる会

(振込先:郵便局 02790-6-9847 北海道自由が丘学園をつくる会)

〒062-0051 札幌市豊平区月寒東1条15丁目5-11 TEL(011)858-1711 FAX(011)858-1333

URL <http://www.hokjioka.net>

E-mail : [codmokan@agate.plala.or.jp](mailto:codmokan@agate.plala.or.jp)

支援会員・寄金 3,000円(年額)  
\*会員には、本通信を配布します。

## INDEX

- P1: 巻頭言
- P2: ヒューマントラスト/会費・集会他
- p3: WAM居場所進行、他
- p4-5: 教育大学生～実習報告
- p6: 初等部～大学生交流など
- p7: スクール3学期～教科・行事
- p8: エッセー、カンパ、後記  
[チラシ、案内他]



《写真》 <2/15 北海道教育大学札幌校・実習より>

2年前より社会科研究室と接点。今回5日間メニュー～持込み授業  
5コマ+アウトドア交流・当方授業参加。(←2色円盤は感想用)



## 「自由な小学校」認可申請の経過報告

～ コロナ渦、認可運動は更に継続展開です ～

認定NPO法人 常勤理事会

『自由が丘』はかねてより「北海道に自由と協同の新しい教育・学び舎」を掲げています。そして、この数年間は表記の取組みを呼びかけ、一昨年には長沼町と協定書締結/廃校舎(小中学校)の長期貸与による学校法人を目指してきました。認可申請は19年度は資金不足で取下げましたが、その後、道新クラウドファンディングにも挑戦しながら、「NPO まおい学びのさと」のもとに20年秋に再度申請書提出してきました。今般、所管する道庁より連絡が入り、下記の理由で「不了承」とのことです。

- ① 児童確保の見込みが立っていない：(初年度1-4学年、各20名)80名定員に対し100名程の希望があると示したが、子ども達の通学時間や距離、学費の関係で条件付きが多く、確実ではない。
- ② 教育課程の不備：学習指導要領は学年毎になので(申請プロジェクト等)縦割りは適切でなく教育手法がつかめない。特色を出すならば文科省の教育課程「特例校」申請し指定を受ける必要がある。

大きな理由はこの二つですが、資金基盤もぎりぎり脆弱であるとの指摘もされました。これを私学審議会に諮り/報告し、結果をホームページ掲載となる流れとのこと。(上記NPO代表の情報要約)

①では、従来より正式認可以前に「予約リスト」的に募るのは一定の制約がある中で多数の希望者が存在すること、②はきのくに子どもの村学園は既に西日本中心に5県で認可され実践を重ねていることなどを示してきましたが、北海道としての認可基準/書類では認めがたいという現実となりました。また、母体資金は予約を含めた初年度中心型の計画書ですが、開校後の数年間を安定経営するには更なる資金加算が求められています。

今後、上記NPO役員会と自治体の摺り合せをしながらの展開となりますが、自由が丘本体としても今の社会教育情勢のもと、改めて21世紀型の人間形成的教育である“一人ひとりが主体となり可能性を追求する学び舎”推進\*にむけて邁進していきます。[\*:本年月寒スクールの規模・運営向上しながら連携]